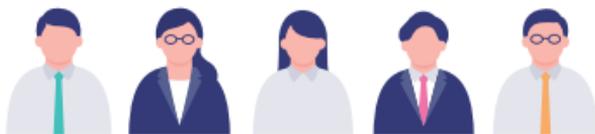


axis news アクシスグループ

7

2022

#求人応募 のホンネ



知りたいあれこれ Q & A

No.35 「民法改正に伴う贈与税と相続税の改正」

今月のアクシススタッフ

前月配信LINEトピックス

#〇〇のホンネ

様々なお題に対して、互いが本音を話す対談企画「#〇〇のホンネ」。今回は近年に入社された25名のスタッフに行った「求人応募」に関するアンケートを基に対談を行いました！「求人票を出しても応募がない！」「なかなか自社が求める人材採用に繋がらない・・・」といったお悩みの経営者様に対して、1つでも解決策の糸口になれば幸いです。

YouTube

求人応募のホンネ



求人応募のホンネ

アクシスグループ
企画部 スタッフ
佐藤 美優



×



アクシスグループ
人事労務部 部長
経菜 穂

第1回目となる「#〇〇のホンネ」では、2年前から今年にかけて入社された計26名のスタッフに行った求人応募に関するアンケートの結果を発表したいと思います！今回は当社の求人票作成や採用面接を担当している経菜と共に解説もしていきたいと思ひます！

経菜さん、事前にアンケート結果を共有させて頂きましたが、このアンケート結果をご覧になった後の率直な感想を聞かせてください。



佐藤



経菜

数値のデータはとも参考になりました。読者のみなさんにはこれから結果をご覧頂けますが、改めてHPで雰囲気が変わるようになっておくことは、応募という行動を起こしてもらう上で、とても重要な役割があるなと思ひました！佐藤さんはいかがでしたか？

HPのリニューアルやインスタの開設・更新など、これまで「採用に繋がるように！」と進めてきたことが、皆さんの応募するきっかけに結びついていて、とても嬉しかったです。「分からないより、分かる会社が良い！」というスローガンのもと進めてきた甲斐がありました（笑）

また、最後の質問に「もっとこういふ情報がほしかった！」などの気づきがあれば教えてください。という内容を盛り込んでいましたが、この質問にも多くの回答頂き、どれも参考になるものばかりでした。採用に繋がるコンテンツはある程度充実してきましたが、まだまだブラッシュアップできる余地がある！と思ひています。



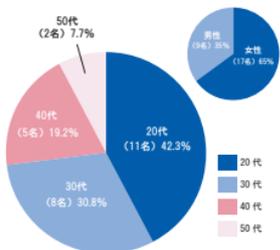
佐藤



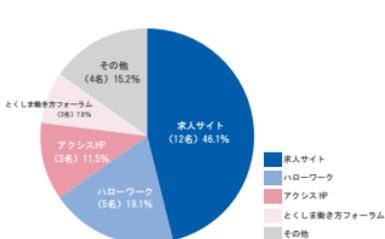
経菜

そうですね！私も佐藤さんもこれからまだまだ採用に関して出来ることが沢山ありますね！それでは、早速今回の結果について解説していきましょう！

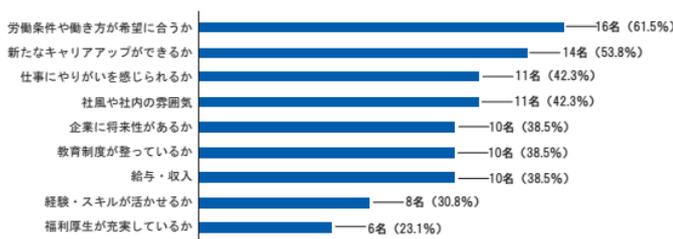
Q1. 年齢を教えてください。



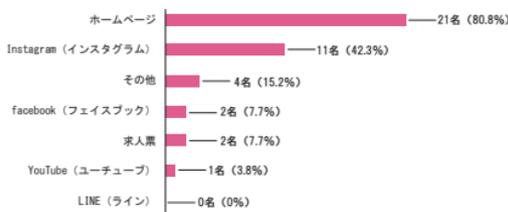
Q2. アクシスグループの求人はどうに見つけましたか？



Q3. 求人を探す際にどういったことを重視していましたか？（複数選択可）



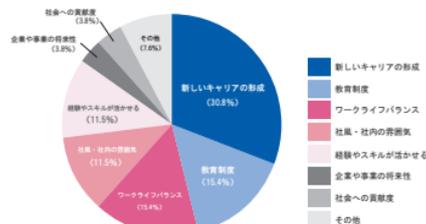
Q5. 応募する際、参考になったメディアは何ですか？（複数選択可）



求人応募の ホシネ

近年入社された26名のスタッフに、求人に関するアンケート調査を実施しました！採用を目的としてHPやInstagramの充実を図ってまいりましたが・・・果たしてその結果は・・・？！

Q4. アクシスグループに応募した一番のきっかけは何ですか？



Q6. Q5で選択したメディアのどういった内容が参考になりましたか？

HPに掲載されている社員インタビュー

資格試験に前向きに取り組んでいる情報や社風、理念など。

面接時の会社説明が非常にわかりやすく、おもしろみが伝わってきた。

活動の様子などがよく分かるHPだったので参考になった。

Instagramに掲載されている写真。社内の雰囲気がつかむのに役立ちました！

実際に働いている人のコメント

役職者以外の方のコメントも含め、多いほど良い。良いコメントばかりだと「本当かな？」と思うので、業務上の厳しい面もあった方が、採用側と応募側のミスマッチも防げると思います。

入社後のキャリア形成についての情報

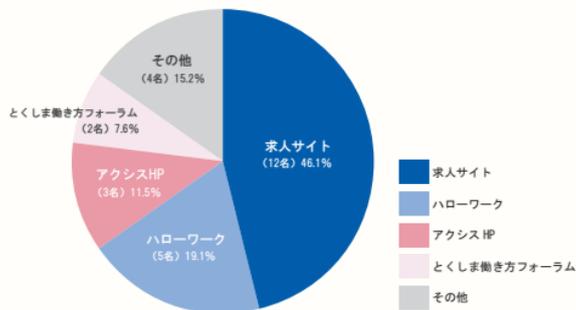
教育体制の充実

未経験での応募だったので、応募する際不安が大きかったです。

勤務の様子がイメージしづらかったので、「ある日の勤務スケジュール」といった情報がほしかった！

繁忙期の勤務スケジュールが事前に分かるようになった！

Q2. 当社の求人とはどのように見つけましたか？



POINT

求人票を工夫して、他社と差別化を図ろう！

佐藤：Q2の「当社の求人とはどのように見つけましたか？」という質問では、約半数近くの方が求人サイトと回答し、20%近い方がハローワーク、続いて、アクシスのHP（11.5%）、採用イベント（7.6%）、その他（15.2%）という結果になりました。

櫻葉：よく、お客様から「どうやったらそんなに採用できるの？」と質問を頂くことが多いですが、そもそも見つけてもらう段階では、求人サイト（indeed等）やハローワークがメインになっていて、他の企業様と変わらないうです。

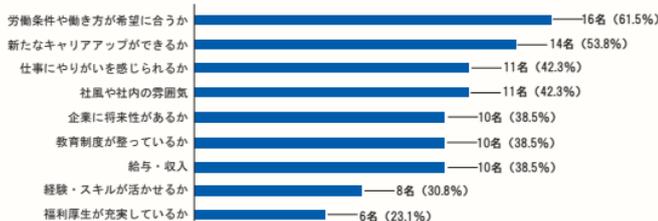
当社で取り組んでいることと言えば、求人を探している方が「どんな会社だろう？」と興味を持ってクリックして頂けるように、「求人票を目立たせる」ことを心掛けています。例えば、クリックしなくても表示される冒頭部分に「産育休の取得者多数！100%原職復帰」といった文言を入れたり、パートさんの求人のタイトル部分に「土日祝お休み」といった文言を入れるといった工夫です。そうすることで、沢山ある他社の求人票と差別化を

図ることができ、クリックしてもらいやすいのではと考えています。

ただ、求人サイトやハローワークに掲載していても「こういう会社があるんだ」というだけで、「応募する」という行動までには至らないと思います。応募してもらうには、やはりHP等で会社の雰囲気分かるようにすることが大切だと思います。

佐藤：そうですね！求人票に興味を持ってくださった方が「アクシスってどんな会社だろう？」と思い、HPも見に来てくれているのだと思います！後半の質問でもその結果が顕著に表れましたので、後ほどご紹介したいと思います！その前に、こんな質問もしてみました！

Q3. 求人を探す際にどういったことを重視していましたか？（複数選択）



POINT

見せ方を工夫して、採用したい人材イメージを感じさせよう！

佐藤：Q3では「求人を探す際にどういったことを重視していましたか？」ということで、9つの選択肢を設けた質問を行いました。結果、選択肢全てにおいて、重視している人がそれなりにいることが分かりました。また、働き方や給与以外に、「新たなキャリアアップができるか」という回答が多い結果となりました。当初、選択肢を考える際に「福利厚生が一番多いだろう」という仮説を立てていたのですが、意外な結果でした！

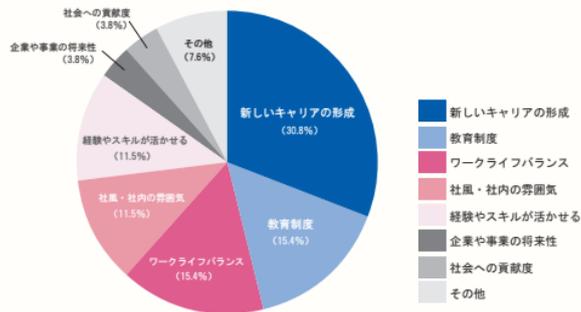
櫻葉：そうですね！私も3年前の採用面接の際に「求人票のどのワードに惹かれましたか？」という質問をして、多くの方が「育児しやすい環境」という回答をされていたので、今回も福利厚生が多いのかなと思っていましたが、キャリアアップでしたね！なので、今後求人票やHP、Instagramでキャリアアップのイメージを打ち出していくと、より応募数も増えるかもしれませんね。

佐藤：もちろん、弊社は税理士法人なので「資格を取ってキャリアアップしたい」と思う人が多いのは事実では

あるのですが、そういう業種でなくとも、例えば、若くから権限が与えられて、経営幹部として成長できる環境がある、みたいなキャリアアップできるようなイメージを付けると、キャリアアップ志向の人を採用しやすくなるかもしれませんね！大それたことではなくても、見せ方次第でそのイメージを感じさせることはできますよね。



Q4. アクシスグループに応募した一番のきっかけは何ですか？



POINT

求職者が重視しているポイントに刺さる広報を！

佐藤: 04の質問の選択肢として、ワークライフバランスや社内の雰囲気、企業や事業の将来性など、7つの選択肢がありました。アクシスに応募した一番の決め手として、「新たなキャリアの形成」が最も多い結果となりました！続いて「教育制度」が15.4%と続き、「成長できる環境であるか」を決め手にされている方が約半数近い結果となりましたね！

佐藤: そうですね！求人を探す段階で「新たなキャリア

アップ」を最も重視していて、応募の一番の決め手も「新たなキャリア形成」という結果です。キャリアアップを重視して探しているのに、そういったことが感じられない企業だと、応募の段階で離脱する方が多くなるかもしれませんね。やはりHPやInstagramなどで研修の様子等をアップして、「成長ができる環境で教育制度もしっかりしている」ということを「感じさせる」ことが大切ですね！

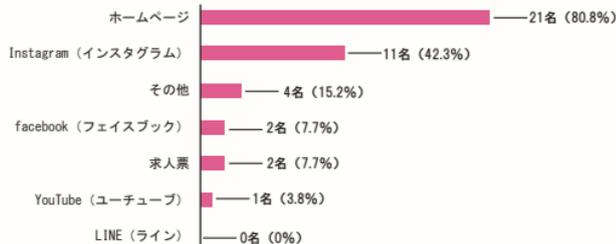
CHECK!!



アクシスグループでは、「成長できる環境」や「キャリアアップ」のイメージが湧くように、HPには役割別に社員インタビューを掲載したり、Instagramには、研修の様子も投稿するようにしています。



Q5. 応募する際、参考になったメディアは何ですか？（複数選択）



POINT

各メディアに役割を持たせて、複数メディアを効果的に連携させよう！

佐藤: 05の質問では、参考になったメディアについて伺いました！複数選択可としていたところ、なんと、ホームページとInstagramをセットで選択してくださっていた方が半数近くいました！

佐藤: それは興味深い結果ですね！佐藤さんとしてはとても嬉しかったんじゃないですか？（笑）

佐藤: これまでHPやInstagramの充実を力を入れ

てきたので、とても嬉しかったです！（笑）恐らく、HPとInstaがセットで選ばれる結果となったのは、当社のHPが理由だと思います。当社のHPでは、トップページの下部にInstaで投稿した画像がアルバムのように見られる設計にしています。恐らく、Instaのアイコンを載せているだけでは、「Instaをやっている」ことに気付かれにくいですし、そもそも、HPとInstaを連携させなければ、このような結果も得られていなかったと思います。

CHECK!!



アクシスグループのHPでは、下部に情報発信として活用している様々なメディアをリンクさせています。特にアルバムのよう見られるInstagramを載せておくことで、社内の様子もHP上で見ることが出来ます。



Q6. Q5で選択したメディアのこういった内容が参考になりましたか？

参考メディア：Instagram



「社内の雰囲気がよく分かった」



「スタッフが大勢で楽しそうにしている写真。人間関係が良いところに入社したいと思っていたので、とても参考になりました」



「職場の雰囲気写真」



「社員の方の顔や雰囲気を気軽に見ることができた」



「社内勉強会等の写真が掲載しており、雰囲気をつかむのに役立った」



「どんな社員さんがいるのか、社内の雰囲気がどんな感じか日々の投稿から分かったこと」

参考メディア：ホームページ



「採用情報の社員インタビュー」



「資格取得を後押ししてくれるようなポジティブな内容（例：サポートあり・祝い金制度あり）」



「活動の様子などがよく分かるHPだった」



「アクシスの強み」「有資格者数」



「求人案内」「事業内容」

参考メディア：求人票



「入社後の担当業務が具体的に記載されていた」



「未経験者歓迎と書かれているところ」

佐藤：そうですね！Q6の「選択したメディアのこういった内容が参考になりましたか？」という質問でも、HPでは事業内容やアクシスの強み、社員インタビュー等を見て、Instagramでは社内の雰囲気を掴むといった感じですね！

佐藤：Instagramについては、「社員の方の顔や雰囲気を気軽に見ることが出来た」「社内の雰囲気がよく

分かった」と回答されている方がほとんどなので、佐藤さんが言われているように、インスタを見て社内の雰囲気を感じてくれているのだと思います。HPやInstagram等、採用に関するコンテンツを充実させることは大切ですが、各メディアにどんな役割を持たせるのか、そしてメディアを選択させてどのように見せるのかということがとても大切だと改めて認識しました！

CHECK!!

アクシスグループでは「社内の様子を見ることが安心感や管理体制の充実をアピールし、採用に繋げる」ことを目的としてInstagramを運営しています。

採用面接の際に「他にも沢山企業がある中で、どうして当社を選んだのか？」という質問をすることで「社内の様子が事前に分かったから」という回答を多く頂きます。「分からない会社よりも分かる会社を選ばれる」ことから、社内の様子を写真と文章で発信することは、とても重要であると考えています。



Q7. 応募する際、他にこういった情報がほしかったですか？

教育・研修



「教育制度が充実していること（未経験の職種だったので、応募する際不安が大きかった）」



「入社後のキャリア形成についての情報」



「未経験者の育成計画」

働くスタッフの声



「実際に働いている方のコメントは多いほど良い。良いコメントばかりだと本当かな？と思うので、業務上の厳しい面もあった方が参考になる」



「働いている人からの意見。（会社の良いところなど）」

勤務・業務内容



「繁忙期の勤務スケジュールが事前に分かるようになった」



「実際の勤務カレンダー」



「フレックスの具体的な働き方」



「繁忙期や月ごとの残業時間」

佐藤：最後の質問では、入社してくださった皆さんが応募の段階でほしかった情報等について教えて頂きました！回答は主に、「教育・研修」「勤務・業務内容」「働くスタッフの声」といった3つのカテゴリに分けられました！この結果を踏まえて、佐藤さんが今後改善したいこと・取り組みたいことは何ですか？

佐藤：最後の質問では、入社してくださった皆さんが応募の段階でほしかった情報等について教えて頂きました！回答は主に、「教育・研修」「勤務・業務内容」「働くスタッフの声」といった3つのカテゴリに分けられました！この結果を踏まえて、佐藤さんが今後改善したいこと・取り組みたいことは何ですか？

佐藤：最後の質問では、入社してくださった皆さんが応募の段階でほしかった情報等について教えて頂きました！回答は主に、「教育・研修」「勤務・業務内容」「働くスタッフの声」といった3つのカテゴリに分けられました！この結果を踏まえて、佐藤さんが今後改善したいこと・取り組みたいことは何ですか？

佐藤：最後の質問では、入社してくださった皆さんが応募の段階でほしかった情報等について教えて頂きました！回答は主に、「教育・研修」「勤務・業務内容」「働くスタッフの声」といった3つのカテゴリに分けられました！この結果を踏まえて、佐藤さんが今後改善したいこと・取り組みたいことは何ですか？

佐藤：私は、教育制度や入社後のキャリア形成等、より具体的に入社後のイメージができる内容を取り上げて、HP上に公開できればと思います。

社員インタビューももちろん良いのですが、インタビュー記事も多くなってくると読む側も大変だと思います。なので、インタビュー記事以外の判断材料として、「未経験者がどのようなステップを踏んでいくのか」といった教育制度の面や、入社後のキャリア形成、各部署のスタッフの1日のスケジュールといった内容をイラストや図で紹介することが出来れば、より入社後のイメージがしやすいのではと考えています。

佐藤：そうですね！そうすることで、より具体的にイメージできるのが良いですね！今學びた内容を基に、今後ブラッシュアップしていきます！佐藤さん、今回はありがとうございました。

佐藤：こちらこそ、ありがとうございました！



知りたいあれこれ

Q & A

経営にまつわる様々な疑問を解決する「知りたいあれこれQ & A」
税務や労務に関することや今話題の情報までお客様に役立つ情報
を発信していきます。

今月の講座

「民法の改正に伴う贈与税・相続税の改正」（櫻井 良江）

Q & A

No.35

民法の改正に伴う贈与税・相続税の改正

Q. 民法改正による贈与税・相続税への影響は？

A. 令和4年4月1日から成年年齢が20歳から18歳に引き下げられたことに伴い、贈与税・相続税の規定における20歳を基準とする要件についても18歳に引き下げる税制改正が行われました。まずは、贈与税について、

- ①相続時精算課税制度
 - ②暦年贈与の直系尊属から贈与を受けた場合の贈与税の特例税率の適用
 - ③直系尊属からの住宅取得資金贈与を受けた場合の非課税受贈者の年齢要件が令和4年3月31日以前の贈与の場合は、その年1月1日において20歳以上、令和4年4月1日以降の贈与の場合はその年1月1日において18歳以上と異なっております。
- また、直系尊属からの結婚・子育て資金の一括贈与では金融機関との資金管理契約の締結日において、
- ・令和4年3月31日以前では「20歳以上50歳未満」の受贈者
 - ・令和4年4月1日以降では「18歳以上50歳未満」の受贈者が対象となります。事業承継税制では、特例に係る後継者は令和4年3月31日以前では「贈与の日において20歳以上」でなければならなかったのですが、令和4年4月1日以降では「贈与の日において18歳以上」となりました。

Q. 相続税については、どう変わる？

A. 相続税では相続又は遺贈により財産を取得した法定相続人が未成年者の場合は要件を満たせば相続税から一定の金額を差し引く「未成年者控除」という制度があります。令和4年3月31日以前では「相続等の日において20歳未満」から令和4年4月1日以降では「相続等の日において18歳未満」となりました。

また、遺産分割協議を行う場合、令和4年4月1日以降は遺産分割協議時点で「18歳以上」であれば法定代理人を立てることなく本人が参加できるようになります。

相続に関連するものとして、民法の改正後「18歳以上」であれば相続放棄も自ら手続を行えるようになり、公正証書遺言の証人・遺言執行者に就任することもできるようになります。

Q. 今後、注視しておくべき事項は？

A. 令和4年度の税制改正で最も注目されていた贈与税のA. 暦年課税制度について今回は見送られましたが大綱では「検討する」と示されていますので今後の動向に注視しておく必要があります。

アクシスグループでは「初回無料」でご相談を承っておりますので、お気軽にお問い合わせください。弊社ではより多くのお客様に必要な情報をタイムリーにお届けするためにLINEの公式アカウントを開設しております。是非、ご登録ください。

／私が紹介しました！／



櫻井 良江

高度税務 スタッフ

新設発行員時代にIT研修現場を離れ「中立的な立場」でお客さまに寄り添い最適なご提案ができる仕事への思いから、簿記多言語弁護士法人アクシスに中途入社。現在は相続・贈与・課税など資産形成業務に携わっています。

お問合わせはこちらまで

アクシスグループ

088-631-8119

アクセシグループ

LINE 公式アカウント

登録者数
1600人突破!

おかげさまでアクセシグループLINE公式アカウントの登録者数が1600人を突破しました！
これからもお客様のお役に立つ情報を配信してまいります！

周りのお知り合いの方に、是非ご紹介ください！



補助金や助成金、各種サービスなど最新情報がいち早く届く！



LINEで質問OK！



申請ご支援など資料のやりとりはLINEで完結！

アクセシグループ

税理士法人アクセシ

社会保険労務士法人アクセシ

行政書士法人アクセシ

川人広平公認会計士事務所

株式会社徳島経理代行センター

株式会社高松経理代行センター

株式会社マネジメント・スタッフ

有限会社エムエスサービス

[本社]

〒770-0051

徳島県徳島市北島田町
1丁目3-3

TEL:088-631-8119
FAX:088-632-6543

[吉野川支店]

〒776-0005

吉野川市鴨島町喜来字宮北
485番地1

TEL:0883-26-0182
FAX:0883-26-0187

[高松支店]

〒140-0079

香川県高松市松崎町
1050-27

TEL:087-814-5875
FAX:087-814-5876

[東京支店]

〒140-0002

東京都品川区東品川
5丁目9番6 1109号

axis news デザイン・制作編集



佐藤 美穂

企画部 スタッフ

美術大学を卒業後、地域プロモーション事業を行う会社に就職し、記事の編集やデザインを担当。その後、母校の大学に3年間のふるま。2019年の春に当社に入社し、企画やデザイン制作を担当している。